

(3) 反応タンク(標準活性汚泥法と高度処理法)

最初沈殿池からの下水に活性汚泥を加え大量の空気を吹き込みます。

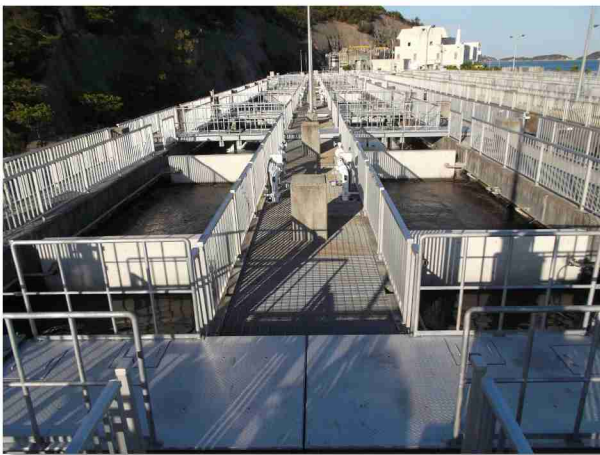
下水中の有機物は、活性汚泥中の微生物の栄養源となって取り除かれます。

池の大きさは幅6m 長さ81m 深さ5m です。

1池あたり、槽容量2,170m³です。6池あります。

左は標準活性汚泥法で運転中の様子です。

汚水は手前から奥に向かって流れていきます。



こちらは、高度処理法で運転中の様子です。

名前を、「ステップ流入式3段硝化脱窒法」といいます。

空気を吹き込む好気タンクと窒素を除去する嫌気タンクを3段に組み合わせています。

汚水は手前から奥に向かって流れていきます。



好気タンクの様子



嫌気タンクの様子

処理された水は、全て最終沈殿池に送られます。



こちらは、反応タンクに空気を送り込む送風機です。

115m³/分が1台

75m³/分が2台あります。